

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		はっぴー・キッズ				公表日	R8 年 4 月 28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		子どもたちが活動しやすいよう、日々整理整頓をして、スペースを確保しています。	細かいブロックや大きいおもちゃの場所等も職員だけでなく、利用者にも支援の一環として整理整頓を強化する予定です。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用人数や利用者の状態で配置数を調整しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・児童の荷物入れに写真を入れたり、おもちゃ箱や本棚を見やすく設置している。 ・入口に段差もなく車椅子が入れるスペースを確保しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々、掃除の徹底をして清潔を保っています。掃除をしながら、整理整頓をして、日々環境整備をしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		午睡や体調不良の児童が出たとき等、状況に応じて使用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎朝、ミーティングをしています。終業後も必要に応じて、その都度振り返り、今後の支援に繋げています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的な評価アンケートの実地を行っています。	保護者の評価・意見を受け・より向上に努めます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎朝、ミーティングをしています。終業後も必要に応じて、その都度振り返り、今後の支援に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月1回以上研修を実地しています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		年1回ホームページに公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		共通アセスメントにより情報をまとめ支援に活かしています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画に沿って支援しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		提供すべき支援の項目について職員間で相談しながら支援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		各担当者を決めて、各職員で立案して、プログラムを決めています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子どもの意見も踏まえて、各職員で立案してプログラムに変化を加えています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		SSTや学習を個別に取り組んだり、小集団の活動、戸外活動等、状況に応じて対応しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝ミーティングで情報共有と支援のありかたについて話しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		翌日のミーティングで情報共有しています。不在者へは記録のノートで確認するようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の様子は、連絡帳に記入して、普段と変わった様子があればミーティングや情報共有と個別ファイルに記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		3～6ヶ月でモニタリングを行い、職員間で話し合いの時間を設けています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		小学校等と、必要に応じて情報に応じて情報の連携を取っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育所、幼稚園、学校に応じて、説明会や面談に参加しています。	保育所、幼稚園、学校のやり方に沿って、相互理解を図っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		会議に参加して他事業所との情報共有を行い、療育に活かしています。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の公園で他児と交流することがあります。		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		必要に応じて、連絡帳や送迎時の口頭での伝達、電話でお伝えしています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○				
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に契約書などを参照にして口頭でお伝えしています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		事前にお話を伺ってから計画立案・同意を得るように努めています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		連絡帳を活用したり、送迎時にお話を伺い助言をお伝えしています。半年に1度は、面談できる機会を作っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		ご家族の参加できるイベントの開催をしています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		その都度対応して、解決に臨んでいます。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的に、広報作成とInstagram更新を行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		年1回個人情報の研修の実施している。鍵付き書庫で保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		各職員で各児童に対して、伝えやすい言葉選びを共有したり、イラストやジェスチャーで示しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域の住民を招待していないが、ハロウィンイベント等で協力していただいています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		現在服薬管理している児童はいません。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		ピーナッツアレルギーがある児童がいるので、ピーナッツが入っているおやつは購入していません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの記入と情報共有を徹底しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年1～2回研修と委員会を開催しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に説明をして了解を得ています。	